



# 双葉台だより

第64号

令和8年1月1日発行  
双葉台地区住民の会



事務所 双葉台市民センター内  
TEL・FAX (029)251-3991

## 新種目『モルック』に挑戦!! ～市民スポーツフェスタ会場にて～



新年おめでとうございます。  
住民の会は再来年で発足50周年の節目を迎えます。  
これ迄の皆様のご協力に対し、心より感謝申し上げます。  
年頭より防災の話で恐縮ですが、一言述べさせていただきます。  
『災害は忘れた頃にやってくる』と言われていました。なかでも地震については、調査委員会による今後30年以内の『南海トラフ地震』の発生確率について、次のように発表しています。過去の隆起量のデータから算出されている確率で「60～90%以上」、南海トラフ以外の、多くの海溝地震で用いる計算方法で「20～50%」という、二つの異なる結果が出ています。いずれの確率も、地震発生確率のランクで最高レベルに位置付けられています。「いつ地震が起きてもおかしくない状況に変わりない」評価なのです。今後は、『家庭での備蓄、自分の身は自分で守る』をモットーに注視していきたいと考えています。



発足50周年と防災

双葉台地区住民の会  
会長 和田 正治



## 大抽選会景品



10月5日 晴天のもと  
4回目となる  
双葉台地区市民  
スポーツフェスタ  
が開催される!

大抽選会特賞  
当選者

## 準備体操



## 魚釣りゲーム

スポーツレクリエーション部長  
高倉 富士男  
10月5日、穏やかなお天気のもと、双葉台公園と双葉台市民センターを会場に「令和7年度双葉台地区スポーツフェスタ」を開催いたしました。  
屋外では、グラウンドゴルフ、紅白玉入れなどのお馴染みの種目ははじめ、複数の種目モルックなど」を巡るスポーツスタンブラリーなどの新たな種目も行われました。屋内では、各種体力測定を実施し、参加者が自身の基礎体力の現状を知る良い機会にもなりました。また、参加



## グラウンドゴルフ



## 紅白玉入れ

者全員による大抽選会も行われ多くの皆様が楽しめました。  
今年度は、全ての種目を体験型・自由参加方式として実施し、参加された皆様にたくさんの種目を体験していただけるよう工夫しました。参加者からも『いろいろな種目ができて大変楽しかった。』『来年もまた参加したい。』など好評をいただきました。  
開催にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、来年度もまた、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## パン食い競争



## 玉手箱



## 輪投げ



## ボッチャ

開眼片足立ち  
測定

## 長座体前屈測定



## 双葉台祭囃子愛好会



水戸三高吹奏楽部

お湯ポチャ  
料理体験

昔遊び体験



綿あめ作り体験



アクセサリ作り体験



双小バトンクラブ発表



餅つき



焼鳥販売



お楽しみ抽選会

## 『ふれあいフェア in 双葉台』開催

生涯学習部長 中村 英一

11月8日、「広げよう・伝えよう・みんなの和・話・輪」をテーマに『ふれあいフェア in 双葉台』を開催しました。「飲食エリア」ではお餅や赤飯、焼き鳥、綿あめ、ポップコーンの販売、「体験・相談エリア」では昔遊び体験やお湯ポチャ体験、「販売・バザーエリア」では障がい者施設で作られた野菜等の販売やバザーが実施されました。「お楽しみエリア」では抽選会や中学校創作部によるアクセサリー作り体験などが行われ、多くのブースで行列ができるほどの大盛況となりました。

また、市民センターホールでは、「双葉台祭囃子愛好会」「バリトン独唱」「双葉台小学校紹介とバトンクラブの発表」「茨城県アカペラサークル」「茨城県立水戸第三高等学校吹奏楽部」の5つの団体による発表が行われ、立ち見の方やアンコールが出るなど、にぎやかに実施されました。本場に多くの皆様にご来場いただきありがとうございます。皆様からのご意見などを参考にしながら来年度も実施いたしますので、ご期待ください。

清潔なまち  
づくり運動

晴天に恵まれた11月17日、小・中学校の児童生徒と共に地域の清掃、美化活動を行いました。今年は集合場所を、中学校と双葉台公園の2か所に増やし、地域の皆様のご協力を受けて、子ども達と声を掛け合いながら活動しました。11月中旬に街路樹の枝おろしが一部で行われており、昨年より落ち葉が少なく、ところもありました。児童生徒との協働清掃にご参加いただいた皆様、自宅近くなどで清掃にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

## 清潔なまちづくり運動



最優秀賞 双葉台中学校  
優秀賞 双葉台保育所  
優良賞 公園花壇愛護会

双葉台地区  
花壇コンクール表彰



## 総務広報部(自治部) 会議を開催

10月31日、初めての試みとして地区内の町内会・自治会会長の方々に集まっていただき、町内会の運営で苦労されていることや課題などについて意見交換を行いました。

現在、双葉台地区では29の町内会・自治会があり、それぞれ独自の活動を展開しています。

話し合いの中で特に課題としてあげられたのが『会員の高齢化』の問題。高齢を理由に町内会の役員(班長など)を辞退したい、また町内会活動が出来なくなったので班を退会したいという方々が増えてきたとのこと。これらの対策として、役員は順番ではなく、やれる方意欲のある方がやる、活動できない方にはやれる範囲内(例えば会費負担のみ)で活動してもらうなどの意見が出されました。

住民の会として、今後も引き続きこのような話し合いの場を設けることにしました。



## 市民歩く会

12月7日に開催された市民歩く会。青空の下、楮川ダム方面に参加者45名で歩きました。

毎年参加される方も多く、今年も皆さん体力の衰えを感じさせず、ますます元気に約10キロ(一万四千歩)の道のりを全員で完歩することができました。

『一緒に参加した友達や隣り合った方たちとの楽しいおしゃべりも、健康づくりに繋がります』と喜んでいただけました。

### コースの道順

市民センター  
↓  
済生会病院  
↓  
常磐高速道路側道  
↓  
浜見台霊園  
↓  
楮川ダム

※帰路は同じコースを戻る



### 側道横断中



楮川ダム付近



### 参加者全員で記念撮影



## 合同防災研修会を実施

12月14日、令和7年3月に双葉台市民センターで実施した合同防災訓練・研修に続き、国田地区において合同防災研修会を実施した。

国田地区から小田倉康家自治実践会会長など役員20名、双葉台地区から和田正治住民の会会長など役員9名が参加。国田市民センターに集合した後、浸水防止施設として設置された陸棚(りっこう)や令和元年10月台風19号で被災した「薬師寺」を見学し当時の様子などの説明を受けた。

視察後、避難場所に指定されている「A茨城教育センター」に移動。今後さらなる連携強化に向けた意見交換を全員で行ない(写真)防災の認識を新たにするとともに交流を深めた。



## 市民センターだより 職員紹介



昨年11月1日付  
けで着任しました  
伊坂洋子です。  
地域の皆様のお  
役に立てるよう精一杯努力して  
まいります。

ご指導よろしく願っています。  
(なお、前任の一澤裕美さんは退職されました。)

## お知らせ

### 今後の主な行事

- 1月...『えこみっと』施設見学
- 2月...グラウンドゴルフ大会
- ◆市民センター文化展
- 3月...地区防災研修

## 編集後記

つい先日箱根大学駅伝を観たと思っただけの間に壁には新しいカレンダー。

温暖化の影響か、去年も異常気象の一年だった。桜の開花は一週間も早く、夏は連日の猛暑日酷暑日、冬眠しない熊のニュースに怯えた秋、水戸の初雪は逆にひと月近く早く観測された。

聞けば双葉台住民の会の発足50周年も間近とか。双葉台に入居した頃は髪も黒々していたが今や床屋と無縁の後期高齢者。

「光陰矢の如し」

「けれどけれどでなんにもしない」今年も駅伝観ながら、お屠蘇片手に反省しきり。(増淵記)